

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員の入れ替わりがあった事もあり、一人一人の職員の理念に対する意識や理解が不明確である。	個々の職員が会社の理念を理解した上で、事業所独自の理念に向けた具体的な取り組みを増やしていく。	ホーム会議の際に、職員間で理念を前提とした具体的な取り組みを検討する時間を設ける。運営推進会議などを活用し、ご家族様の意向も取り入れながら関係者全員参加型のホーム運営を行う。玄関にわかり易く文章化して掲示する。	6ヶ月
2	18	出来る事と出来ない事の見極めが出来ていない。かかわりの中で、支援ではなく介助と言う意識が働いている。	「介護職として共に暮らす」事を目的とし、入居者様が介助されていると言う意識を持たれない自然な関係を作る。	正しい認知症の理解をカンファレンス等を利用し職員が把握していく。かかわり方を理解した上で、入居者様の出来る事、出来ない事の見極めを職員間で共有する。	3ヶ月
3	49	日常的な外出を行う事の意義や意識が低い職員の中で低い。業務に追われてしまっている。	地域の中で、社会とつながって入居者様を支える環境作りを行う。	業務の流れを職員全員で話し合う。入居者様の希望を把握し、ご家族様へのご協力も頂きながら、具体的な外出行事や個別対応の外出機会を設ける。	3ヶ月
4	35				ヶ月
5					ヶ月